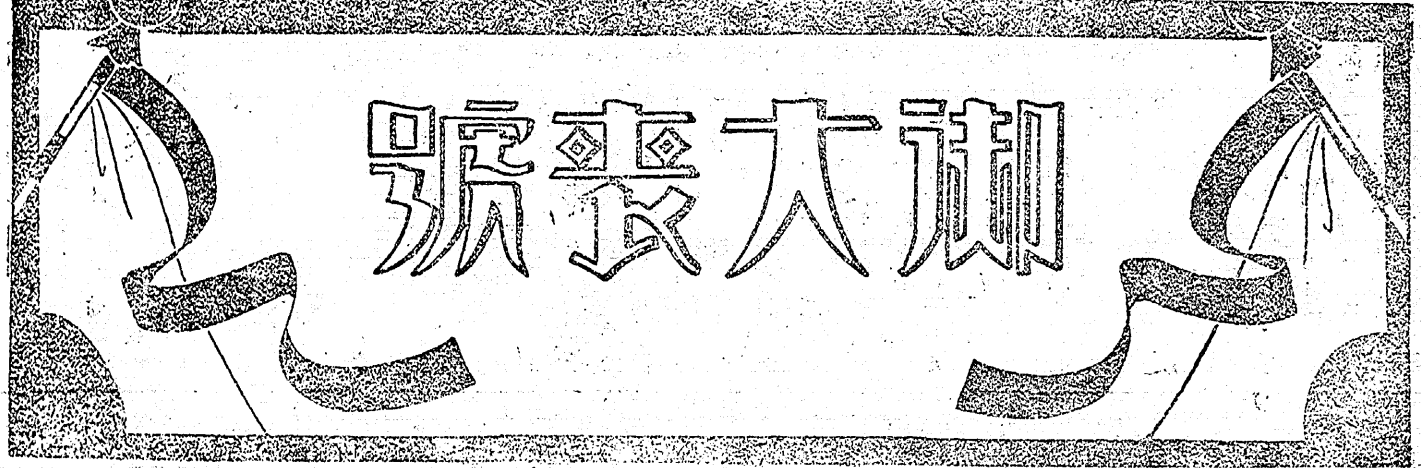


日刊 七夕 磐城時報

福島縣石城郡平町新田十四
編輯兼發行人 阿田 弘成
印刷所 磐城印刷所
印刷部 石城郡平町新田十四
發行所 磐城時報社
電話 一〇四
▲部金貳圓一月五拾錢
▲廣告料一行十四字時金五十錢
▲日刊（日曜祭日）休刊

謹而御靈柩を
御送り奉る
磐城時報社



遙拜の詞

大正天皇葉山御用邸に於て御不例の趣を拜承しその後八千萬同胞は擧げて御平癒を天地神明に祈願したがその甲斐もあらせられず十二月二十五日遂に御崩御遊ばされ國民の悲愁極まりなきうちに四旬は過ぎ今日も御大喪の日は來つた。

大正天皇、天性至仁にわたらせられ明治大帝の遺烈を繼いで大統をうけさせられてより専らその大御心を基として政をすべさせたまひ、萬民悅服、みなその御徳を頌し奉つたのである、然るに大正十一年御疾患により皇儲に攝政の大任を命せられ御保養につごめさせられたが御容態渺々しからずその間竹の園生の各宮殿下の御心盡しを承るにつけ國民の赤誠は火さも霜を踏み、水を浴びて御快癒を祈り奉つたが遂に國家最大の不幸に遭遇したのである。

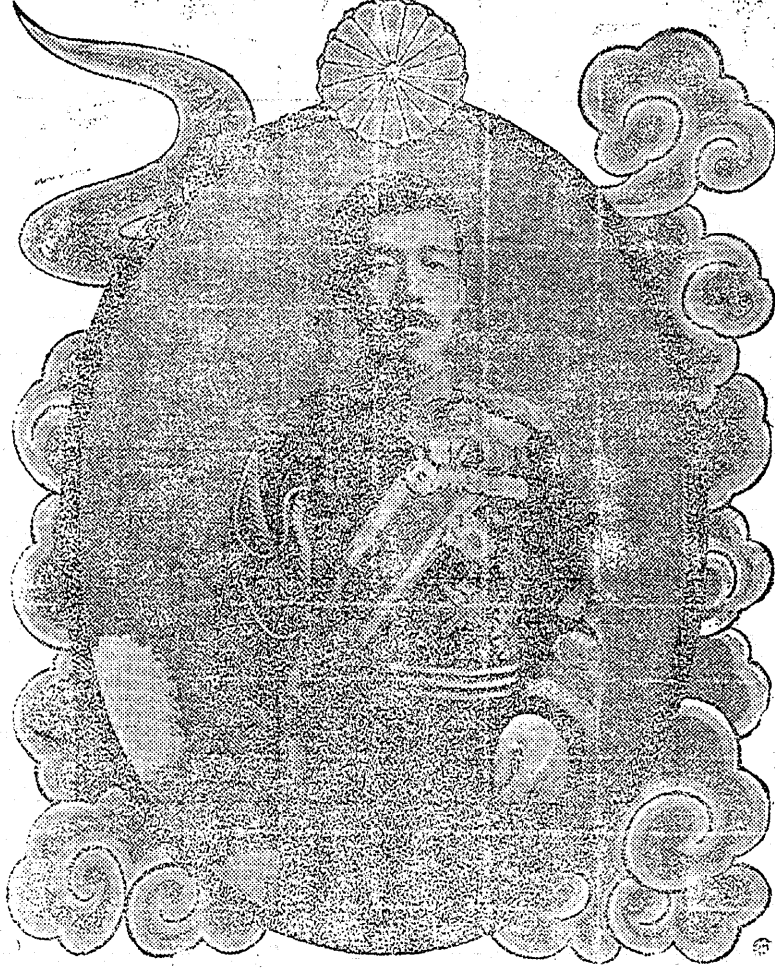
伏してたもみみるに 大正天皇の御治世十五年その間歐洲の大戦、ベルサイユの講和會議、ワシントンの軍備制限會議、國際聯盟會議等國際政治上我國が最も主要の地位にたち且つ重大な勢力を張るに至つた事は我國史上の異彩で、大正天皇の御威徳によるものである、更に關東大震災の後數年ならずして今日の復興を見た事は之亦、大正天皇の御聖徳に外ならない。

申すもかこしき事ながら 大正天皇は御幼少の御時から御健康優れさせたまはず而も難局に處せられ國務に御盡瘁遊ばされため著るしく御健康を害させたまふたご拜承し我等臣民はただただ恐懼の外はない、あゝけふ二月七日我等の追慕措く能はざりし大常の御尊骸は永久に歸りませぬ御幸の日、われ等はただ哀切の熱涙に咽ぶのみである、今夕六時靈輦ひきたび殯宮御發引となり七色の哀音切々として宮城を出でさせられ莊重極まりなき御葬列は靜かに御式場に向はせらるゝのである、かくして八日午前二時四十五分靈輦は御陵所に御着午前六時十五分悲愁極まりなき大神葬の御儀は全く終りを告げさせらる。

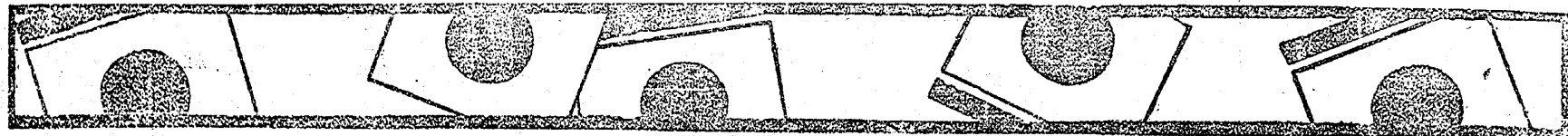
今や御大喪の日に遭ひわれ等萬感胸にせまつて痛哀極りなく葵衷いご切、地にひれ伏して遙かに帝都を拜し永劫に神去りまじし大み靈を送り奉る。

御大喪儀御時刻

御靈柩	御車發引	御車	寄	(號砲)	七日午後六時
表赤裁	町坂判	署溜所	前池	午後六時三〇分	
驅葬權	殿田	署溜所	前池	午後七時三〇分	
欽葬儀	入總	署溜所	前池	午後八時三〇分	
中葬場殿の儀	安	署溜所	前池	午後九時	



聖上誄詞	(號砲)	午後一〇時三〇分
先發供奉列車出發	(新宿御苑假驛)	午後正一時三五分
靈柩列車出發		午後正一時三五分
後發供奉列車出發		午後正一時三五分
先發供奉列車(東淺川驛)		午後正一時三五分
靈柩列車(東淺川驛)		午後正一時三五分
後發供奉列車(東淺川驛)		午後正一時三五分
葱華輦進御		午前一時五〇分
立宮殿前齊殿着御		午前二時四五分
欽葬儀中陵所の儀		午前六時一五分



松ヶ岡公園で 平町の遙拜式

七日、八日の兩日こそ永劫に神去りまし、大君の御大葬が我が八萬同胞の限りなき悲しみのうちに、いづくにせらるる日である、この日平町地方では各戸毎に弔旗を掲げ、平呉服商組合を始め平料理屋、平藝妓屋湯屋組合等殆んど全部の各種營業者は奉悼の意を表して休業し店頭を幕で蔽ひさしもの本町通りも寂として聲なく弔旗を懸へる風のみが悲しさをそそつてゐる。平第一、第二兩小學校を始め女子中等諸校では七日午前九時警城中學校、平商業學校等では各官公衙と等しく午後十

多摩の多摩

多摩は古く萬葉集に見ゆ多摩郡は早くから武蔵の大郡で國府の所在地、現今は三郡に分れてゐるが尚ほ多摩の稱あり武蔵にあつて由緒深く親しき地名である、御陵墓地を武蔵陵墓地と名付け給ひ御陵を多摩の陵と定められ給へるは最も然る可き處と拜し奉る。

一時それ／＼所定の場所へ遙拜の式を擧げる筈である。午後六時御靈柩が宮城を御發引になる頃から平全町の十數ヶ所にはかゞり火が焚かれ正十一時には全町民が松ヶ岡公園廣場に集合し擧式の辭、神官修祓、同奉悼、同遙拜の詞、平町長代理の拜詞、一同最敬禮に會衆代表が玉串を奉獻し遙拜の式を行ふ筈になつてゐる、同時刻に至れば全國的事ではあるが、平郵便局に於ける電信、電話、進行中の列車等も一分間の取扱又は進行を中止し従業員乗客等それ／＼起立して拜禮禮をなし平地方の凡ゆる寺院では殷々たる百八の梵鐘がとゞろき一入悲しみを深からせしむるであらう

謹んで靈輿を御送り奉る

警城高等女學校 櫻井賢文	平町長 伏見彦衛	平警察署長 櫻村慶	警城銀行 白井一郎	平銀行 山崎與三郎	警越銀行 中野甲藏	警城實業銀行 鈴木辰三郎	平郵便局長 小松良滋	警物検査所平支所 安島八郎
平商業學校 吉田利吉	東部電力株式會社 武田精一	草野村 高岡唯一郎	平機關庫主任 鈴木宗吉	縣會議員 木村清治	縣會議員 井上茂作	縣會議員 古川傳一	平町 野崎滿藏	縣會議員 草野順平
警城佑賢學舎 大和田豊吉	平陽實科高等女學校 酒井猶次	平在郷軍人分會 山崎清三	平驛長 新利雄	私立藤田裁縫女學校 藤田榮助	警城建物株式會社 井上貞治郎	平信用組合長 大谷久藏	平運輸株式會社 鈴木雄次	平町 新田目善次郎
警城共濟病院 地泰助	平町 佐々木龍若	平銀行 神谷辰五郎	平町 佐藤武之	小田炭礦株式會社 小田吉治	平町 眞木桓	平町 萩原義雄	平町 吉田寅之輔	警越銀行 瀧澤俊平
平消防組 柏原幸次郎	平町 諸橋久太郎	平町青年團 三森虎雄	平製水株式會社	平町 馬目雄次郎	平町 猪狩庄平	平町 端山正男	石城産看學校校主 鷹崎貞衛	警城炭礦株式會社 水室清
警城炭礦株式會社 青沼録太郎	警城炭礦株式會社 水野虎三郎	警城炭礦株式會社 濱崎善三郎	平町 草野七五三之助	平町 加納五郎	赤心堂病院 新妻由五郎	平町 馬日武之助	平町會議員一同	平産産看護婦學校 清野キヨ